

出産・子育てしやすいまち1位をめざして

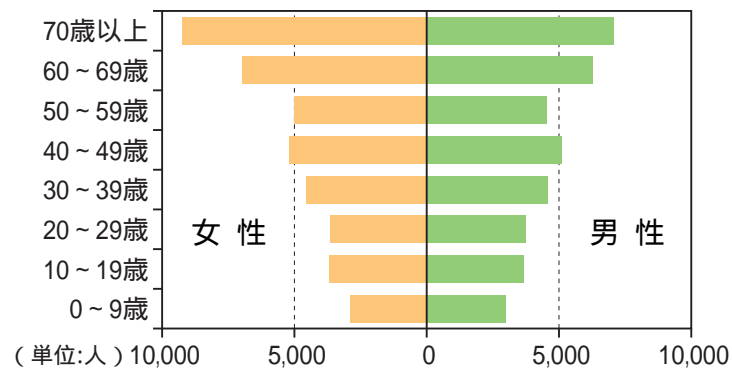
～ 20～30歳代の女性を対象としたアンケート調査から見えるもの ～

三木市では、若者・子育て世代の転出傾向が続いていることから、結婚や就労、住む場所を決める際に重視することなどを分析し、まちづくりに反映させるためアンケート調査を行いました。

問(市)縁結び課、政策課

1 三木市の人口の現状

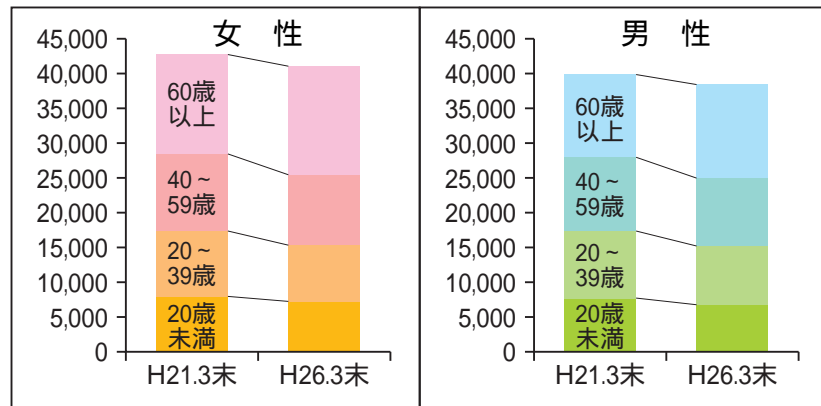
① 年代別にみる三木市の人口



また、女性では、10歳代と20歳代が2番目に少ない状況です。
(平成26年3月末の住民基本台帳)

② 人口の推移

5年前の人口と比べると、20～39歳が最も多く減少しており、その減少の内訳は女性が1,700人、男性が1,500人あまりとなっています。
(住民基本台帳による)



③ 未婚率の状況

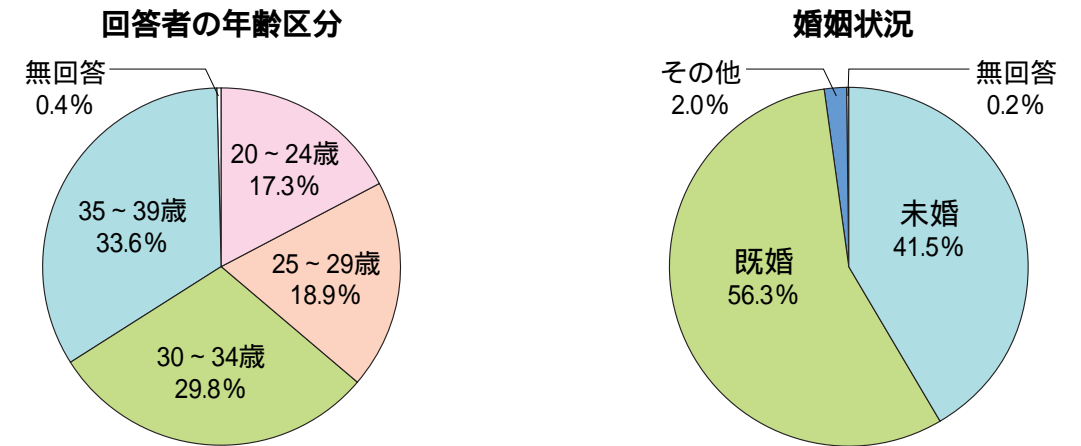
三木市の未婚率は、全国平均、県平均と比べて男女とも高く、とりわけ25～34歳にその傾向が強くあらわれています。(平成22年度国勢調査)

	女性				男性			
	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
全国	87.8	58.9	33.9	22.7	91.4	69.2	46.0	34.8
兵庫県	89.2	60.7	34.6	22.5	91.8	68.9	43.8	31.7
三木市	91.0	64.8	40.2	25.7	94.2	74.6	51.5	36.5

2 アンケート結果

① 調査の概要

20～39歳の女性6,600人(無作為抽出)を対象に、9月26日～10月16日の期間で調査を行った結果、1,857人から回答があり回収率は28.1%でした。



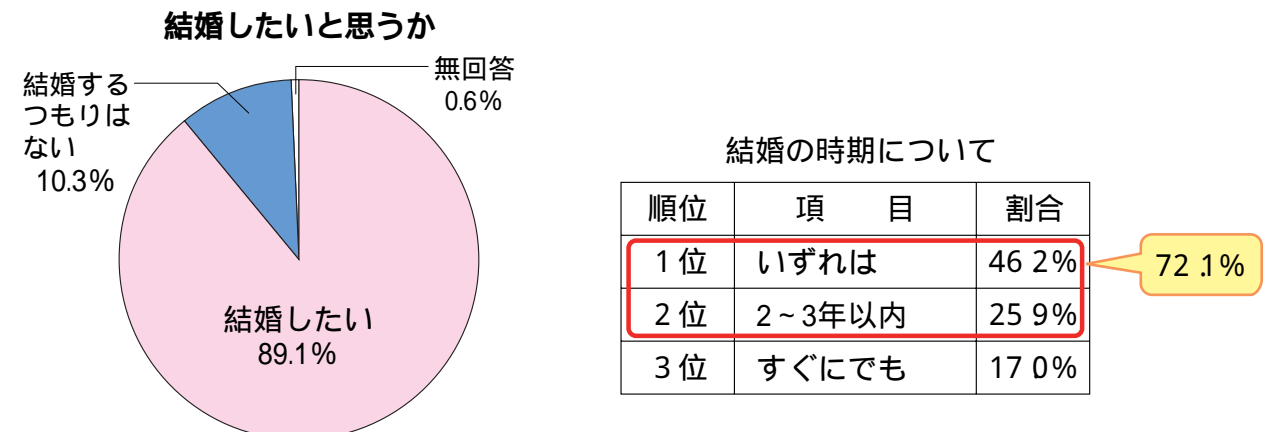
② 結婚したい理由

既婚者の方は、好きな人と一緒にいることを重視し、未婚者等(未婚・離別など)は、「子どもが欲しい」「家庭を築きたい」という結果になっています。

既婚者			未婚者等		
順位	項目	割合	順位	項目	割合
1位	好きな人と一緒にいたい	25.1%	1位	子どもが欲しい	19.9%
2位	家庭を築きたい	22.3%	2位	家庭を築きたい	19.7%
3位	子どもが欲しい	16.6%	3位	好きな人と一緒にいたい	15.0%
8位	経済的な安定が欲しい	3.8%	6位	経済的な安定が欲しい	9.0%

③ 結婚の意思と結婚時期

未婚者等に結婚の意思と結婚時期について聞いたところ、89%が結婚に前向きな回答でした。しかしながら、その時期については7割以上が「すぐにでも」以外の回答となっています。



④ 結婚していない理由

順位	項目	割合
1位	適当な相手にめぐりあえない	23.5%
2位	異性と出会える環境がない	16.9%
3位	今は必要性を感じない	13.7%

未婚者等に結婚していない理由を聞いたところ、出会いの不足を感じる人が多いことがわかります。

出会いの不足

⑤ 結婚の決め手となる条件

結婚の決め手となる条件は、既婚者、未婚者等の双方で最も多かったのは「性格」でした。次に、既婚者では12%で3番目だった「経済力」は、未婚者等では24%と2番目に重視されています。一方、既婚者では22%と2番目に重視された「恋愛感情」は、未婚者等では10%となっています。

既婚者

順位	項目	割合
1位	性格	36.2%
2位	恋愛感情	21.5%
3位	経済力	12.2%
4位	趣味	7.1%
5位	健康	5.8%

未婚者等

順位	項目	割合
1位	性格	32.1%
2位	経済力	24.0%
3位	健康	10.8%
4位	恋愛感情	9.7%
5位	趣味	4.3%

⑥ 仕事（雇用形態など）について

理想とする自身の雇用形態等については、既婚者、未婚者等とも正社員が1位となっていますが、その割合は未婚者等の方が高くなっています。

既婚者

順位	項目	割合
1位	正社員	53.5%
2位	短時間のパート・アルバイト	30.8%
3位	長時間のパート・アルバイト	8.7%

未婚者等

順位	項目	割合
1位	正社員	80.8%
2位	短時間のパート・アルバイト	6.4%
3位	長時間のパート・アルバイト	5.3%

⑦ 定住場所を選ぶ際に重視すること

順位	項目	割合
1位	生活・住宅環境が良い	17.4%
2位	交通の便が良い	16.9%
3位	通勤（通学）しやすい	11.8%
4位	子どもの教育環境が良い	11.4%
5位	医療や福祉面が充実	10.0%

既婚者・未婚者等に住む場所を選ぶ際に重視することについてたずねたところ、生活・住宅環境や交通の便の良さが上位となっています。

3 今後の施策の方向性 ～アンケート結果をふまえて～

国では、現在「まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げ、人口減少対策や女性の活躍の場の創出などに取り組みだしたところです。

三木市においても「三木版の総合戦略本部」を早急に立ち上げ、以下の3つの観点から若者・子育て世代の定住をはじめ、多くのひとに生活の地として選ばれるような「三木の創生」に取り組んでまいります。

① まち ～若者が定住しやすいまちへ～

定住地を選ぶ際には、住環境のほか、利便性を重視するとの結果がでたことから、交通をはじめとした生活全般における利便性を向上させる必要があります。

【施策案】

- ・固定資産税相当分の助成を継続し、若者世代の住宅新築を応援
- ・民間によるニュータウンなどでの若者向け集合住宅の整備などにより、定住を促進
- ・バス交通をはじめ、新たな公共交通網の構築



② ひと ～出会いから始まるネットワーク～

結婚の意思はあるものの出会いの機会が少ないという結果が多いことから、今後も引き続き男女の出会いの場づくりを進めていく必要があります。

【施策案】

- ・兵庫県内でも突出した成婚実績をもつ「みきで愛（出会い）サポートセンター」での出会いの場の創出強化
- ・子育てキャラバンでの悩み相談など、子育て環境を充実し、子育て期の悩みを解消



③ しごと ～魅力ある多様な就業機会を創出～

結婚を希望する人が家庭を持ちやすい環境を整えるには、雇用による収入の確保など経済的な安心が重要であることから、今後さらに働く場の創出や安定して働ける環境づくりなどを積極的に進めていく必要があります。

【施策案】

- ・新たな雇用の創出のため事務系業種の誘致
- ・企業の成長と雇用の拡大を図るため、市内企業の設備投資や資金調達を支援
- ・市内企業に対し、従業員が子育て・介護等のしやすい環境づくりへの支援
- ・幼保一体化の推進による仕事と家庭の両立しやすい環境づくり
- ・女性や若者の起業などチャレンジしやすい環境づくりを支援

